

高崎の年中行事と食

横田 雅博

2021年7月10日(土)

会場：高崎市市民活動センター・ソシアス

1 年中行事とハレの食文化

(1) 年中行事とは

- ①宮廷年中行事…暦が導入されてから始まった。日本古来のものもあるが、中国由来のものが多い。民間や社寺の行事も取り入れている。
- ②民間年中行事…農耕儀礼、祖霊祭祀など。群馬ではモノビと呼ぶ。
- ③神社の祭礼…春秋の例祭、夏越の祓、夏祭りなど。
- ④仏教行事…涅槃会、彼岸会、灌仏会(花祭り)、盂蘭盆会など。
- ⑤新しい年中行事…バレンタインデー、クリスマス、ハロウィンなど。

(2) 伝統的な年中行事に用いられた食べ物

- ①餅・飯・粉もの…餅、ぼたもち、ちまき、団子、赤飯、小豆粥、白米飯、五目飯、すし、まんじゅう、うどん、そばなど。祝祭食品。群馬ではカワリモノと呼ぶ。
- ②菓子・揚げ物…ゆべし、ようかん、あられ、天ぷら(つけあげ)など。
- ③大豆加工品…味噌、醤油、納豆、豆腐、黄粉など。
- ④酒…清酒、どぶろく、甘酒。明治以前は自家醸造もあった。かつては酒を飲む機会は神祭りのときなどに限られていた。
- ⑤魚介類…海なし県の群馬では、ほぼ干物や塩漬に限られていた。サケ、タラ、サンマ、イワシ、ニシン、スルメイカなど。
- ⑥野菜類…七草、菜(カブを含む)、大根、里芋、キュウリ、カボチャなど。

2 食から見た高崎の年中行事(昭和初期～昭和30年代頃)

(1) 正月行事

- ①暮れの餅つき…正月の餅をつく。
- ②大晦日…夕食に白米飯や年取り魚(サケなど)を食べる。夜、年越しそばを食べる。
- ③三が日(1/1～3)…朝食は家例により異なる。雑煮、うどん、そばなど。高崎の旧城下では雑煮の具につと豆腐。夕食は白米飯。三が日のうちにとろろを食べる。
- ④お棚さがし(1/4)…三が日に正月棚に上げた雑煮などを下げ、おじやにして食べる。七草粥に入れるところもある。
- ⑤六日年(1/6)…夕食に白米飯、年取り魚(サケなど)。爪を切る。
- ⑥七草(1/7)…朝食に七草粥を食べる。七草までは菜を食べないという例も多い。
- ⑦鏡開き(1/11)…正月に飾った鏡餅を下げ、雑煮や汁粉などにして食べる。
- ⑧丸め年(1/13)…小正月の繭玉を作る。小正月の若餅をつく。松飾りから繭玉飾りへ飾り替え。1/12のところもある。

- ⑨ ドンドン焼き (1/14) …早朝に小正月のドンドン焼きを行う。その火で繭玉を焼いて食べると風邪をひかないという。
- ⑩ 小豆粥 (1/15) …朝食に小正月の小豆粥を煮て、粥かき棒でかき回す。はらみ箸を使って小豆粥を食べる。
- ⑪ 繭かき (1/16) …繭玉を下げ、汁で煮て食べる。
- ⑫ エビス講 (1/20) …恵比寿様が働きに出る日。朝、恵比寿・大黒に膳を供えて祭る。お高盛りの白米飯、魚(サンマ、イワシ)、煮物、けんちん汁など。
- ⑬ 二十日正月 (1/20) …縄ないの初めの日。餅をついたり、小豆粥を作ったりする。
- ⑭ しまい正月 (1/28) …正月の終わり。雑煮などを作る。

(2) 春の行事

- ① 節分 (2/3) …年取りともいう。夕に白米飯、イワシなどを食べる。豆まきをし、ヤカガシをトボグチ(家の入口)にさす。
- ② 初午 (2月最初の午の日) …稲荷様、蚕神様を祭る日。赤飯や繭玉を作る。
- ③ コト始め (2/8) …庭先にメカイ(竹籠)を立てる。小豆飯を作るところがある。
- ④ 涅槃会 (2/15) …釈迦入滅の日。寺に参り、ヤセウマ(涅槃団子)をもらう。
- ⑤ 天神講 (2/25) …子供が宿に集まり、天神様に参る。五目飯などを食べる。菅原道真の命日という。12/25や1/25に行うところもある。
- ⑥ 三月節供 (3/3) …雛祭り。雛人形に菱餅を供える。のり巻きや稲荷ずしを作る。
- ⑦ 春の彼岸 (3/18～24) …墓参りをする。中日にぼたもち、走り口に団子を作る。
- ⑧ 鎮守の春祭り…地域によって日は異なる。赤飯を炊いて祝う。
- ⑨ 灌仏会(花祭り)、卯月八日、…寺に参り、甘茶をもらう。草餅を作る。
- ⑩ オコモチ (4/15) …お蚕餅。農繁期に入るので、その前にアンピン(餡入り餅)を作る。苦餅、または地獄餅ともいう。5/15に行うところもある。
- ⑪ 八十八夜 (5/2) …「八十八夜の別れ霜」などという。草餅、アンピンなどを作る。

(3) 夏の行事

- ① 端午の節供 (5/5) …「ゴンチの節供」と呼ぶ。赤飯、草餅、柏餅などを作る。嫁の実家へタラの干物を持参する。
- ② 氷餅 (6/1) …砕いて保存しておいた正月の供え餅を、あられなどにして食べる。
- ③ 蚕の休み餅…蚕の3眠(フナ休み)または4眠(ニワ休み)にアンピンを作る。フナ餅、ニワ餅という。
- ④ オコアゲ餅…蚕の上簇祝い。アンピンを作る。
- ⑤ 田植え…朝食や昼食に白米飯、赤飯、豆腐汁、煮しめなど。コジョハンに白米や赤飯のおにぎり、まんじゅうなど。
- ⑥ サナブリ(マンガ洗い) …田植えが終わったお祝い。赤飯、煮しめ、身欠きにしんの味噌煮、酒などで祝う。
- ⑦ 農休み(7月中旬頃) …農作業が一段落した後の休み。新しく収穫した小麦でまんじゅうを作る。
- ⑧ 祇園祭り(7月後半) …八坂神社の祭り。天王祭りともいう。キュウリを供えたり川に流したりするところがある。家庭では赤飯やまんじゅうを作る。
- ⑨ 土用…梅を干す。土用味噌(なめ味噌)を作る。丑の日とうなぎを食べる。

(4) 盆行事

- ①釜の口開け (8/1) …地獄の釜のふたが開く日。焼きもち、まんじゅうを作る。
- ②七夕 (8/7) …笹飾りを飾る。うどんやまんじゅうを作る。盆前の墓掃除をする。
- ③盆迎え (8/13) …盆棚を飾り、墓参りをして先祖を迎える。夕食に白米飯。「生臭を食べないと盆様に口を吸われる」と言って、盆魚を食べるところがある。
- ④盆 (8/13～15) …8/14・15には、朝食にぼたもち、昼食にうどん、夕食に白米飯を食べる。昼食のうどんをヒルバテエと呼ぶ。
- ⑤盆送り (8/15または8/16) …夕方、墓参りをして先祖を送る。団子を作る。

(5) 秋の行事

- ①二百十日 (9/1) …台風の来る荒れ日。赤飯やまんじゅうを作る。
- ②八朔の節供 (9/1) …嫁が婿を伴い、葉ショウガを持って里帰りする。赤飯やまんじゅうを作る。
- ③十五夜 (旧 8/15) …月見をする。ススキ、里芋、その他の野菜、果物、団子 (オテマル) またはまんじゅうを供える。
- ④鎮守の秋祭り…オクンチともいう。地域によって日は異なる。赤飯を炊いて祝う。
- ⑤秋の彼岸 (9/20～26) …墓参りをする。中日にぼたもち、走り口に団子を作る。芋ジョクシンやゆでた青菜を供えるところもある。
- ⑥十三夜 (旧 9/13) …十五夜と同様のものを供え、月見をする。「片月見はするものではない」と言い、十五夜の月を見たら十三夜も見るとされる。
- ⑦十日夜 (旧 10/10) …子供達がわら鉄砲で地面をたたく。餅をつき、アンピンを作る。
- ⑧刈り上げ祝い、秋上げ…稲刈りが終わった祝い。白米飯、小豆粥、ぼたもちなどを作る。嫁がぼたもちを持って里帰りするところもある。
- ⑨アナップサゲ…麦播きが終わった祝い。ぼたもちなどを作る。ネズミやモグラを封じる意味でアナップサゲという。
- ⑩エビス講 (11/20) …恵比寿様が帰って来る日。夕、恵比寿・大黒に膳を供えて祭る。お高盛りの白米飯、魚 (サンマ、イワシ)、煮物、けんちん汁など。旧城下で高崎えびす講市が開かれる。

(6) 冬の行事

- ①ツジュウ団子 (11/30) …ツジュウ団子は、稲の落ち穂や粃を広い集め、粉にして作った団子。これを篠竹に刺し、玄関や窓などに刺す。鬼や厄神を除けるという。
- ②川浸り餅 (12/1) …ぼたもちを作って川神様に供え、水難に遭わないように祈る。
- ③コト終い (12/8) …庭先にメカイ (竹籠) を立てる。小豆飯を作るところがある。
- ④油餅…地域によって日は異なる。秋の農作業が終わった祝いに餅をつき、アンピンにする。春のオコモチを地獄餅と呼ぶのに対し、極楽餅と呼ぶ。夫婦餅ともいう。
- ⑤屋敷祭り…家によって日は異なる。屋敷神のお仮屋を作り替え、赤飯やイワシ、豆腐などを供える。
- ⑥冬至 (12/22) …ゆず湯に入る。カボチャを食べると中風にならない、または風邪をひかないという。漢方の医薬の祖として冬至に祭られる神に神農と黄帝があり、黄帝の「黄」と、ゆずやカボチャの黄色が結び付いた可能性がある。他に、こんにゃく、「ん (運)」の付く食べ物。